

秋田公立美術大学学内情報システム導入業務に係る  
公募型プロポーザル評価基準書

NO	評価区分	仕様書 章	項目	評価内容	配点
1	実績評価	一	契約実績書(様式2)	・過去5年間に他大学において基幹系システムの構築および学務システムの導入を行い、これらを誠実に履行した実績を有すること。	50
計					50
2	技術評価	2	調達の概要	・本業務における調達範囲を理解し、調達の概要における提案が適切に説明されているか。	10
3		3	構築・設計にかかる基本要件	・仕様書で要求している基本要件を理解し、設計・構築までに関わる事項を明確に提案・説明できているか。	100
4		4 6 7 8	・機器仕様要件 ・電子メールシステム要件 ・教職員向け情報共有システム要件 ・ユーザー新規作成・削除管理システム要件	・各機器個々の仕様や機能を明確にし、システム全体としても適切に稼動することを提案・説明で証明できているか。 ・運用上有益なものについて追加提案されているか。 ・円滑な大学運営のために適切な電子メールシステムおよび情報共有システムを提案しているか。	250
5		5	学務システム仕様要件	・学務システムとして必要なシステムメニューを網羅し、要求・要件を満たした機能を有していることを提案・説明できているか。 ・運用上有益なものについて追加提案されているか。	200

6	技術評価	9	保守・運用要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用・保守の役割分担、保守作業、障害対応の考え方・方針が的確に示されているか。</li> <li>・適切な要員が提案され、サポート体制も機動的であるか。</li> <li>・故障発生時の対応について、適切かつ具体的に提案されているか。</li> </ul>	60
7		10	テスト要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調達された機器類が設計要件どおりに稼動できるかをシステム構築後のテストによりシステムの稼動状態が明確に判断できることを提案・説明できているか。</li> </ul>	10
8		11	移行要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新システム移行に伴い、具体的な作業工程を明記した移行計画書が作成され、移行時、不足な事態が発生した場合でもリカバリ可能な方策が提案・説明できているか。</li> <li>・日常の学内情報システム運用に与える影響が最小であることが提案・説明できているか。</li> </ul>	10
9		12	セキュリティ要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務で導入される機器類について、情報セキュリティ対策上、最新の状態で運用が開始されることを提案・説明できているか。</li> <li>・導入後の運用期間中の対策について具体的な対応を提案・説明できているか。</li> </ul>	20
10		13	設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務で導入される機器類について、設備設置箇所への搬入、設置、設定等の作業を安全かつ、周囲の環境に影響を与えず実施できることを提案・説明できているか。</li> </ul>	10

11	技術評価	14	プロジェクト管理にかかる要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール等遵守事項を適切に提案・説明できているか。</li> <li>・プロジェクト体制が本業務で検討すべき内容を考慮して構成されており、作業区分毎にも、経験と実績が豊富なメンバーで構成されていることを提案・説明できているか。</li> </ul>	30
計					700
12	価格評価	—	価格 (見積書)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に安価だけでなく、企画内容に対して適切な価格となっているか。</li> </ul>	200
計					200
13	プレゼンテーション評価	—	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明が論理的でわかりやすく説得力があるか。</li> <li>・本業務に対する取組意欲やコミュニケーション能力は十分で、信頼のおけるパートナーとして相応しいか。</li> </ul>	50
計					50
合計					1000